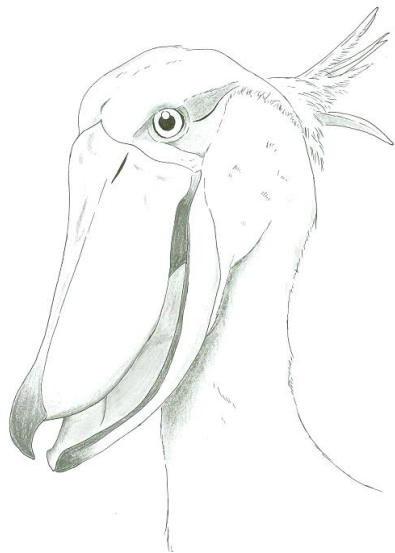




どねり自然図鑑

動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

【撮影したさん竹内さんのつばやき】とても大きなクチバシを持ったハシビロコウ。微動だにしないので、写真がとても撮りやすい変な鳥でした。



名称：ハシビロコウ（嘴広鶴）
学名：*Balaeniceps rex*
体長：約100-140cm
体重：約4-7kg
分布：アフリカの湿地、草原地帯
主食：魚類

【謎の怪鳥】

○ハシビロコウの生息数ははっきりせず、1,000~2,000羽といわれたり、1万羽ほどともいわれる絶滅危惧種です。また、その生態についてもまだまだ謎だらけの鳥なのです。

ハシビロコウは動かない鳥としても知られています。これは、獲物を捕らえる時の習性で、水面近くに寄ってくる魚を何時間もじっと待ち続け、獲物を捕らえます。また、獲物を捕らえるときもクチバシで突くように捕えるのではなく、大きなクチバシを開けて体ごと倒れるようにして襲いかかり、魚を丸飲みにします。その魚を消化するのに数時間もかかり、消化作業に1日のエネルギーの30%も費やします。

【孤独が好き】

○ハシビロコウは基本的に単独行動で、他の個体が近寄るのを嫌がります。

そのため、檻の中に複数羽いてもお互いに離れて過ごします。1羽が移動すると、他のハシビロコウも移動し、一定の距離を保ちます。また、ハシビロコウは鳴くことはなく、クチバシを叩き合わせて音を出す『クラッタリング』により、威嚇したり、コミュニケーションを取ったりします。

『舎人図書館にある参考資料の一部を紹介↓』

上田恵介 柚木修 『小学館の図鑑NEO 鳥』 小学館
鈴木まもる 『世界の鳥の巣本』 岩崎書店
川上和人 『ポプラディア大図鑑WONDA 鳥』 ポプラ社

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくらう！